

## 令和7年第11回沖縄県教育委員会（定例会）議事録

### 1 開会及び閉会に関する事項

令和7年9月11日 午後3時開会

午後3時45分閉会

### 2 出席者及び欠席委員の氏名

#### (1) 出席者

|           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 教育長 半嶺 満  | 委 員 比嘉 佳代 | 委 員 大城 進  |
| 委 員 宮城 光秀 | 委 員 辻上 弘子 | 委 員 小濱 守安 |

#### (2) 欠席委員

なし

### 3 説明のため会議に出席した職員の職氏名

|                 |       |                 |       |
|-----------------|-------|-----------------|-------|
| 教 育 管 理 統 括 監 事 | 田代 寛幸 | 教 育 指 導 統 括 監 事 | 崎間 恒哉 |
| 参               | 諸見 友重 | 参               | 伊波 寛仁 |
| 総 務 課 長         | 平田 直樹 | 総 務 課 財 務 班 長   | 向里 総子 |
| 学 校 人 事 課 長     | 東 哲 宏 | 学校人事課県立学校人事管理監  | 上 原 令 |
| 働き方改革推進課長       | 上江洲 寿 | 保 健 体 育 課 長     | 遠 越 学 |
| 文 化 財 課 長       | 米須 薫子 |                 |       |

### 4 議事関係

#### (1) 開会

半嶺教育長が開会を宣告した。

#### (2) 非公開の決定及び議事日程の決定

議案第1号は人事に関する案件であることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第14条第7項の規定により非公開とすることが全会一致で決定された。また、議事日程は会議資料記載の日程案のとおりとすることが決定された。

#### (3) 令和7年第10回議事録の承認

全会一致で、令和7年第10回議事録を承認した。

#### (4) 議事録署名人の指名

半嶺教育長が比嘉委員を議事録署名人に指名した。

## (5) 報告事項

報告事項１ 教育委員会の権限事務に係る教育長の臨時代理（県議会議案「令和７年度沖縄県一般会計補正予算（第４号）」に対する意見）

### 【説明（総務課長）】

教育委員会の権限事務に係る教育長の臨時代理（県議会議案「令和７年度沖縄県一般会計補正予算（第４号）」に対する意見）について資料に基づき、報告を行った。

### 【質疑等】

○大城委員 ２点教えてください。今回の補正予算は、学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた実証を行う市町村への委託事業費の増額を理由としていますが、国庫委託事業が終了したため、県で引き継いで予算計上するのでしょうか。また、対象地区市町村学校数はどうなっていますか。

○保健体育課長 本事業につきましては、国が民間に委託をして、県がそれに手を挙げるというかたちで取り組んでいる事業であります。令和７年度の当初予算は措置されており、スポーツ庁から示された新たな項目への取組のため、増額補正を組んでおります。本事業について、対象となっている８市町村のうち４市町村が新たな項目を追加しております。

○大城委員 承知のとおり、現下、各自治体で休日の部活動を地域クラブへ移行する取組が進められています。また、今年度まで改革推進期間とされていることも承知しています。これまでの地域移行に向けた所管課の熱意と努力を評価し、今後も計画に基づき着実に取り組んでいただきますようお願いいたします。

報告事項２ 沖縄県公立学校における働き方改革推進計画に係る成果指標３の令和６年度集計結果について

### 【説明（働き方改革推進課長）】

沖縄県公立学校における働き方改革推進計画に係る成果指標３の令和６年度集計結果について資料に基づき、報告を行った。

### 【質疑等】

○比嘉委員 長時間勤務の主な要因がいくつか挙げられていますが、年代別データはありますか。

○働き方改革推進課長 長時間勤務の要因の年代別データは、現時点では把握していないところです。取組の推進にあたっては、今後、より詳細なデータ分析が必要な段階に入っていくことも想定されるため、情報収集等について検討したいと考えております。

○比嘉委員 働き方改革推進課の取組を通して、かなり改善されたと思います。更なる成果には、細かい分析が必要と感じますので、大変だとは思いますが、引き続きよろしくお願いいたします。

○大城委員 7 ページ、今後の取組等関連で、関係機関と連携した取組から 2 点お聞きします。背景として「私たちのピースリスト 2023」の取組事項、学校における P T A 活動の内容等の見直し及び周年行事等の式典の見直し等の課題に対する対応として、次の二つが提案されたと思います。一つ、市町村教育委員会や P T A 等の関係団体との連携強化、二つ、保護者・地域等の全県的な理解醸成です。今年度において、それぞれどのように進めていますか。あるいは進めようと考えていますか。

○働き方改革推進課長 まず、市町村教育委員会や P T A 等との関係団体との連携強化につきましては、本庁内においては、令和 5 年 4 月に本課が設置され、同年 7 月に沖縄県公立学校における働き方改革推進本部及び、その下部組織として各市町村教育委員会や P T A 等との関係団体との連携協働を推し進めるための外部連携部会を設置して、取組を進めているところです。なお、令和 6 年度は外部連携部会において、市町村や P T A 等、様々な関係団体と計 67 回の会議を開催しております。また、この外部連携部会以外にも、市町村で行われる会議や研修会等への参加、講師の依頼が多数あり、令和 6 年度は計 81 回出向いております。引き続き今年度も継続して関係団体との連携協働に取り組んでいるところであります。続いて、保護者・地域等との理解醸成につきまして、今年度の取組としては、昨年度に引き続き、沖縄県の広報番組『うまんちゅひろば』において、去った 8 月 30 日、31 日に「チームと対話で学校の働き方改革」のテーマで放送を行ったところであります。放送前日の 8 月 29 日には、本課が設置された令和 5 年度に続き 2 回目の取組としまして、半嶺教育長自らが学校関係者や保護者・地域に広く呼び掛ける“学校における働き方改革”教育長メッセージ 2025～子どもたちの未来のために“チーム”と“対話”で実現を！～」をタイトルとした動画をネット上に掲載し、市町村教育委員会や学校に周知したところであります。なお、県教育委員会のホームページにもリンクを貼っており、そこからも視聴できます。働き方改革の実現のために、今後も更に取組を進める必要があり、保護者・地域の理解が不可欠と考えております。引き続き、様々な機会を活用して、理解醸成に取り組んでいきたいと考えております。

○大城委員 令和 6 年度の集計結果報告から所管課の本事業に対する熱意と努力が伝わり、個人的には特に 6 ページ、「令和 5 年度から概ね改善傾向にあるが、目標値の達成に向けては、働き方改革の更なる推進が必要となる。」との考察に、学校の働き方改革に向け安易に妥協しない本庁の姿勢に、事業の成果が出てきていることを承知しています。また、調査結果から浮かび上がった保護者と地域の連携に関わる課題の解決に向けて、今後の取組等において市町村教育委員会や P T A 等の関係団体との連携強化、更に全庁体制で各取組目標の着実な推進としていることから、教育委員会として確実に達成する決意と理解しました。令和 7 年度は中間年度評価・検証の期、本施策の着実な推進と取組の一層の充実を期待しています。よろしくお願いします。

報告事項 3 令和 7 年度全国高等学校総合体育大会及び令和 7 年度全国高等学校定時制通信制体育大会の結果報告

【説明（保健体育課長）】

令和7年度全国高等学校総合体育大会及び令和7年度全国高等学校定時制通信制体育大会の結果報告資料に基づき、報告を行った。

【質疑等】

○大城委員 今回、高校総体団体の部で惜しくも1位入賞を逃しましたが、準優勝は立派です。また、個人の部では1位入賞3名、昨年度比で2名増、ウエイトリフティングは2年連続1位の快挙、加えて11ページの団体・個人合わせての入賞数が昨年度と同数23人、更に総体参加者が42校429名、昨年度は42校420名とのことで、令和7年度総体も生徒諸君はよく検討したと思います。そこで、現在の県立高校運動系部活動の状況について教えてください。

○保健体育課長 県立高校におきましては、運動部活動に約15,000人の生徒が加入しております。割合としては40.2%であり、コロナの影響も受け、令和に入ってから減少傾向にありましたが、令和5年度の38.3%と比較して上昇しております。現在、高体連に加盟している競技35競技、野球を含めた36競技のうち部員が多いのは、男子では野球、バスケットボール、バレーボール、サッカー、女子ではバレーボール、バスケット、バドミントンです。競技種目によって部員数のばらつき等の課題がありますが、それぞれの目標を掲げて、夢を持ちながら取り組んでいるところであります。本県の特徴の一つとして、全国的には全国中学校体育大会で競技を実施しなくなるほど競技人口が減少しているハンドボールの競技人口が非常に多いということが挙げられると思っております。また、競技力の向上については今後も取り組んでいきますが、本来の目的である、自発的に部活動に参加し、スポーツに親しみながら責任感や連帯感などの力を付けたり、学校教育において本来目指す資質・能力、あるいは好ましい人間関係の構築など、そういったことを育てていけるような部活動の活性化に今後も取り組んでいきたいと考えております。

○大城委員 わかりました。入賞者の皆さんには部活動や本大会で培ったチームワークや忍耐力、身に付けた技能やスキルを各自の学校生活や新たな挑戦の場につなげていくことを願っています。加えて、令和16年に沖縄県において第88回国民スポーツ大会の開催が予定されており、この大会においても、本県生徒の皆さん、そして部活指導者の皆さんにとって、楽しく意義深い場になることを願っています。所管課におかれましては、高校運動部活動をはじめ、部活動改革の推進など、今後もより一層の各学校における御支援、御指導をお願い申し上げます。

報告事項4 第49回全国高等学校総合文化祭 かがわ総文祭2025等の結果報告

【説明（文化財課長）】

第49回全国高等学校総合文化祭 かがわ総文祭2025等の結果報告資料に基づき、報告を行った。

【質疑等】

○宮城委員 19部門中で出場しなかった4部門についての内容と、全国総文祭までの流れを具体的に教えてください。

○文化財課長 参加しなかった4部門は、新聞、日本音楽、吟詠剣詩舞、マーチング部門です。また、全国総文祭へ出場するためには、令和6年度の沖縄県における総合文化祭で上位入賞する必要があります。

○大城委員 第49回全国高総文祭 かがわ総文祭において、伝統芸能部門で最優秀と優秀賞の2校受賞は快挙です。また、伝統芸能をはじめ5部門で八つの入賞、昨年度は、同じ5部門で六つの入賞、更に大会15部門に243名、昨年度は同じ15部門に252名の生徒が参加したことから、よく頑張ったと思います。そこで、現在の県立高校文化系部活動の状況を教えてください。

○文化財課長 沖縄県高等学校文化連盟の調べによりますと、令和6年度の文化系部活動、クラブ、同好会などの活動状況について、沖縄県の生徒数43,840名のうち、文化部活動に所属している生徒が10,078名であり、加入率が22.9%です。過去の推移を見ますと、令和3年度26.2%、令和4年度26.3%、令和5年度28%と3年間で微増していましたが、令和6年度は5.1ポイントほど減となっている状況でございます。30部門の中に吹奏楽部や、農業に関する部門、家庭科に関する部門などがあり、令和6年度において部門ごとの加入生徒数1位は軽音楽・現代音楽に関する部門、2位は社会活動・ボランティアに関する部門、3位は家庭科に関する部門です。大学入試制度の改革の影響もあり、進路につながる部門への加入や、複数に加入することもあり、運動部とは異なる特徴だと伺っております。引き続き、高校における文化部活動の支援を行い、本県における文化の振興に寄与していきたいと考えております。

○大城委員 わかりました。今回のかがわ総文祭2025 伝統芸能部門において、南風原高校郷土芸能部が文部科学大臣賞の最優秀賞を受賞したこと、また、受賞作品「御願綱（うがんぢな）」を東京の新国立劇場で披露したことも大変嬉しい知らせです。当該生徒たちにとって忘れられない経験となり、これからの人生における大きな励みとなるでしょう。委員として、今回、同郷土芸能部がここに至るまでにチームで困難を乗り越えた経験、そして得られた成果が、他校で夢を共有する仲間、そして他の部門で頑張る生徒たちの励みになることを期待しています。所管課には、高校文化系部活動の取組や高校生伝統芸能分野海外就業体験事業など、今後もより一層の御支援をよろしくお願いいたします。

## (6) 議案審議

議案第1号 学校職員の人事について（非公開）

## (7) その他 特になし

## (8) 閉会 半嶺教育長が閉会を宣言した。